

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各関係機関の長

山形大学飯田キャンパス長
上野 義之
(公印省略)

山形大学 Well-Being 研究所担当助教候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、山形 Well-Being 研究所 (AI・DX 部門) の新設に伴い担当助教の候補者を公募しておりましたが、適任者を広く求めるため再公募することとなりました。

ついては、貴機関又は関係機関において、AI・データサイエンスを専門とし、同分野において教育・研究を担当可能な適任の方がおられましたら、下記により御推薦くださいますようお願い申し上げます。

おって、候補者の方には選考の過程で御来学の上、面談いただく場合がありますので、あらかじめ御承知おき願います。

謹言

記

【募集の背景】

山形大学医学部では、10年以上にわたり、山形県7市1町の地域住民健診の受診者2万人を対象に経年的な健診項目や生活習慣の変化、様々な疾患の発症等の情報を収集し、その情報を基に、様々な環境要因や遺伝子因子と疾患発症、生命予後との関連について調査、研究(「山形県コホート研究」)を行っております。また、病院バイオバンクにおいては、約1万2千人から組織及び血液のバンキングを行っており、大量のデータが集積されています。

令和5年度から、これまで医学部に設置され「山形県コホート研究」を担ってきた「メディカルサイエンス推進研究所」の改組を行い、新たに全学組織として「Well-Being 研究所」を設置いたしました。

Well-Being 研究所においては、山形コホート研究の成果を活かし、一層多様化、深化させるため、医学部内に加え、人文社会科学部や地域教育文化学部の教員も新たに参画し、従来のコホート研究の調査項目に人文学、教育学等多様な分野の研究にも活かせる項目を新たに追加した新コホート研究を開始します。

また、山形コホート研究の成果を市民・自治体に個別化して還元し、健康寿命の延伸、Well-Being (健康・幸福) な地域づくりを目指すとともに医学部を中心に全学の研究活動を活発化させます。さらにその活動の一環として、令和6年度から山形市民を対象とし、ICTを活用した行動変容介入試験を予定しています。

市民のPHR データと医療データを組み合わせた高度なセキュリティを要する医療ビッグデータを活用できる環境の構築、健康に関する医療統計やビッグデータの解析、研究成果を社会実装するためのICTツールの開発を推進できる人材を募集いたします。

1 職種及び人員 助教(プロジェクト教員) 1人

2 所属 山形大学 Well-Being 研究所

3 採用予定年月日 令和6年4月1日以降、可能な限り早い日

4 担当授業科目

担当科目: 医療情報、AIに関する科目

※具体的な担当科目については、面接時に説明させていただき、ご専門との適合性

に関してすり合わせをしたいと考えています。

5 応募資格

- (1) 博士の学位（主に理工/情報系）を有する者、又は同程度の研究・教育上の業績を有する方、又は実務において高度の専門性や相当の実績を有する方
- (2) 統計モデルやAI/機械学習/深層学習などに関する研究または業務の経験を有すること。（個別に評価する）
- (3) データ処理を目的としたプログラムの経験（Python、R、Matlab等）を有すること。（個別に評価する）
- (4) アプリケーション開発に関する研究または業務経験を有すること。（個別に評価する）
- (5) 分野横断的、多職種および学外関係機関との連携による研究・教育・実践を行うことができる方

上記、2～4の資格をすべて満たす必要はありません、多くの資格を所有する方を歓迎します。

6 待遇等

- (1) 身分 常勤職員（正職員）※国立大学法人職員（非公務員）
- (2) 任期 1年（年度ごとの雇用更新。勤務成績により令和9年度まで更新可）
- (3) 試用期間 採用の日から6か月
- (4) 就労 専門業務型裁量労働制を適用（みなし労働1日7時間45分）
- (5) 休日 週休2日（原則、土曜日及び日曜日）、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
※ただし、大学行事、入試等により勤務を命ずる場合があります。
- (6) 休暇 年次有給休暇20日、病気休暇（有給）、特別休暇（有給）
- (7) 給与 本学給与規程等に基づき支給
- (8) 諸手当 期末・勤勉手当（6月、12月）、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当等
※上記の諸手当は、支給要件を満たす場合に規定額を支給します。
- (9) 退職手当 本学給与規定に基づき支給
- (10) 社会保険 文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

8 提出書類

以下の提出書類全てについて、紙媒体及び電子ファイル（電子ファイルの種類は以下に明記されたもの）を各1部提出をお願いします。

- (1) 推薦書（A4判・縦型、PDFファイル）※推薦人は1名に限る。
- (2) 履歴書（様式1、Wordファイル）
- (3) 業績目録（様式2、Wordファイル）
- (4) 研究費受領状況（様式3、Excelファイル）
- (5) AI・データサイエンスに関する教育並びに研究歴（A4判・縦型、800文字以内、様式任意、PDFファイル）
- (6) 主要論文別刷5編以内、PDFファイル

9 公募締切日 令和6年1月5日（金）必着

10 選考内容（選考方法、採否の決定）、結果通知方法

書類選考および面接等（何らかのテーマで、10分程度プレゼンテーションをしていただく場合があります）により行います。

書類選考の結果、面接を行う方に対しては後日面接日時等の調整に係る連絡をします。
※面接等のために要する経費は応募者の負担になります。

- 1 1 書類提出先 〒990-9585
山形市飯田西二丁目2-2
山形大学飯田キャンパス長宛
(封書には「山形大学 Well-Being 研究所助教公募書類在中」と朱書のこと。)
- 1 2 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当 (人事)
TEL 023-628-5005
FAX 023-628-5019
メールアドレス yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

1 3 その他

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。

また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度はじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

(様式1)

履 歴 書

記載例

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
氏 名: 〇 〇 〇 〇 ④ 昭和42年(1967) 〇月〇〇日生(〇〇歳) 性別
(旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇
電 話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.〇〇.jp

現住所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県
電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴: 昭和61年(1986) 3月 〇〇高等学校卒業
平成4年(1992) 3月 〇〇大学医学部医学科卒業
平成〇〇年(〇〇〇〇) 4月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
平成〇〇年(〇〇〇〇) 3月 同 上 修了

免許等: 平成4年(1992) 4月16日 医師免許(第〇〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇〇号)
学 位: 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学), または博士(医学)(〇〇大学)

職 歴: 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院(〇〇部)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)
令和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)
現在に至る。

所属学会等: 日本〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)
日本〇〇〇学会
日本〇〇〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)

社会貢献: 〇〇病院への応援診療(平成〇年~現在)
〇〇県〇〇〇審議会委員(平成〇年~令和元年)
〇〇〇〇〇〇高校における講演「〇〇〇〇〇〇(演題)」(令和〇年〇月〇日)
※特筆すべき活動のみを記載してください。

賞 罰: なし

(様式2)

業 績 目 録 (枚のうち 枚目)

氏 名 :

[原 著] ・ [症例報告] ・ [総 説] ・ [国際学会の Proceeding]

- ① Yamagata T, Beniya H, Sagae M : Frequent hypermethylation of the hMLH1 gene promoter in endometrioid adenocarcinomas of the uterine cervix. Int J Cancer 65 : 459-463, 1998.
- 2 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : Invasive ductal carcinoma associated with tubular adenoma of the breast. Virchows Arch 429 : 239-243, 1998.
- 3 Yamagata T : Prognostic markers for invasive breast cancer. Pathol Int 50 : 186-195, 2000.
- 4 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎 : 肉腫様変化を伴う原発性肺癌の細胞学的検討. 日臨細胞誌 38 : 226-230, 1998.
- 5 大石田 進, 新庄一郎, 紅屋花子, 山形太郎, 寒河江光政 : 卵巣原発 PNET の 2 例. 病理と臨床 16 : 407-412, 1998.
- 6 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政 : 胎児性癌細胞と胚性幹細胞. 実験医学 20 : 338-344, 2001.

[著 書]

- 1 Sagae M, Yamagata T : Infertility due to endocrine disorders. In Pathologic Basis of Infertility (Holmes MC, Kaufman G, eds) pp.145-182, Academic Press, New York, 2000.
- 2 山形太郎 : ホルモンレセプターの異常. 不妊症の診断と治療 (天童三郎編) pp.173-186, 国際医書出版, 東京, 1999.

[学会発表]

- 1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M : The presence of APC gene hypermethylation is a specific marker for esophageal adenocarcinoma. 90th Annual Meeting of the American Association of Cancer Research, Chicago, April 1999.
- 2 山形太郎, 寒河江光政 : 癌抑制遺伝子 APC の機能. シンポジウム「がん遺伝子/がん抑制遺伝子研究の進歩」第60回日本癌学会総会, 横浜, 2001年9月

記 入 要 領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会の Proceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。
なお, 印刷中 (In Press) の論文については受理証明書を添付してください。
- 2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代順に記載してください。
- 3 具体的記載について
 - (1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会の Proceeding については, 原則として記載例にならってください。なお, 次の点にも御注意ください。
 - ・ 雑誌の略誌名は, Index Medicus 及び医学中央雑誌に掲載されているものに準じる。
 - ・ 全著者名を記入し, 本人名には下線を付する。
 - ・ 主要論文 (20編以内) に○印を付ける。また, 主要論文には日本語で数行以内の概要を記入してください。
 - (2) 学会発表については, 全国規模の国内学会での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限りま。

記載例

研究費受領状況

(過去5年間)

氏 名:

| 年 度 | 種 目 (代表・分担の別) | 研 究 課 題 名 | 金 額 (円) |
|------|---|------------|---------|
| 2020 | 文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (2020年度~2022年度) (代) | △△△△に関する研究 | |
| | 〇〇生命厚生事業団助成金 (代) | ▽▽▽▽に関する研究 | |
| | AMED 助成 (代) | 〇〇の臨床応用研究 | |
| 2017 | 文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分) | □□□□に関する研究 | |
| | 厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代) | 〇〇〇〇に関する研究 | |
| | 〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代) | ◇◇◇◇に関する研究 | |

※「研究費」には、企業等からの研究費提供等も含む。この場合は、企業名を明記すること。